

**おたがいさまビュー P.8-P.11 ボランティア募集、講座などお知らせ**

## セボネ20周年記念！

## セボネ座談会開催

先月号でもお伝えしたとおり、セボネは今月からリニューアルしました。そこで、今までセボネの取材や編集に関わってきた方々をお招きし、現編集委員と3月26日（火）に座談会を開催しました。まずは編集委員に携わったきっかけから始まり、そこから話は多岐に渡り、あっという間に時間は経っていきましました。以下に、座談会のごく一部を紹介します。

## 出会いは宝

**山田** 編集委員だった時は、本当によくいろいろなところに取材に行かせていただきました。普通は会えない立場の人たちだと思いましたが、編集委員でもなければ会うことも話すこともない人たちがだったので、そんな人たちに取材に行くこと、みなさんパワーのある元氣

のある人たちだから、そのような人たちから話を伺えたっていうのはすごく楽しかったですね。

**星野** 私もこれだけ続けてこれたのは、出会いは宝だと思うからです。こんな人に会えてこんな話が聞けたっていうのはすごく面白いことでした。鮎川誠さん（シーナ&ザ・ロケッツ）を取材した時は、なんて素敵なお人があるんだらうって惚れこみましたね。

## セボネ寄稿もあり！

**星野** そういえば、セボネは当初毎号20ページあって、特集は2つありましたよね！ よくやってたわよね（笑）

**荻野** 当時も編集委員は4〜5名がいて、もちろん編集委員で何を書こうか検討していたけど、それ以外にも、寄稿して頂く形も結構ありましたよ。例えば、震災関連だったら、あの人やあの団体とか、

やパワーを持ってる方がセンターに多く集合していたのかなと思うのですが、どうなのでしょう？

**星野** 千歳船橋にセンターがあった頃、牟田さんがいつも、何をするでもなくそこにいたよねという感じがありましたよね。同じようなことが、今ここで起こるかって言うと、どうかなあ、と思うんですよね。以前はみんなが自然と寄ってきたっていう、たまり場、居場所みたいなところもあったんじゃないかしら。今は、団体やボランティアをやっている人たちが、ちょっと寄ってみようかな、と思うような雰囲気は少なくなっちゃってしまっている。センターを改装した時に、居場所やたまり場のようなところにしようという話もありましたよね。今は協会が行っている事業がいっぱいになって、なかなかそういう余裕がないのかもかもしれません。セボネは協会の情報誌ですが、昔のそんな居場所のよ



牟田悌三元理事長を取材したセボネを持つ星野弥生さん

自分が現地に繋がりがあればまたそこから紹介してもらい、寄稿をお願いするというように繋がっていったね。今で言えば、自分の仲間が石川県にいれば現状報告を書いてくれないかと連絡するでしょうし、いなければ世田谷ボランティアセンター（以下センター）のネットワークを使って、被災地のボランティアセンターの

**星野** それこそ、荻野さんが担当していた頃は、プレーパークが世田谷ボランティア協会の受託事業だった時で、担当の天野秀昭さんに書いてもらったし、児童館関連の記事などは澤畑勉さんをお願いしたりと、現場の人に書いてもらってましたね。

## 牟田悌三さんの居場所

**近藤** 当時と今の市民活動の人たちや団体は、勢いが今と違うのかなと思っていて、いろいろな方からお聞きするとこの協会には牟田さん（世田谷ボランティア協会元理事長）や、先ほどお話に出た天野さんや澤畑さんなどがいらして、今の言葉で言えばインフルエンサーのような、いわゆる影響力



後列左から：星野弥生（1997～）、松下洋章（2023～）、佐藤研資（2002～）、市川徹（2004～）

前列左から：山田篤志（2000～2005）、荻野陽一（1992～1997）、近藤浩紀（2021～）※敬称略



うな場所を紙面で維持していくような場になるといいな、牟田さんの意思を継いだそんな場所があったてもいいんじゃないかなというのが私の個人的な思いです。

**佐藤** 奇しくも今年は牟田さんが亡くなってちょうど15年になりますね。



北海道からZOOMで参加してくださった山田篤志さん

**近藤** 僕より先輩の人たちがたまに遊びに来て下さるのですが、「センターは変わったよね、なんか寂しくなったよね」といったようなことを言われ、その度、すごく悔しい気持ちになります。以前は、お話に出ていたように団体や個人、みんなが集まって、いろんなことをみんなの力で頑張っている、そういう活気があったと思います。しかし、今は団体の数は、ピークからは横ばい状態と言われているので、数は多分そんなに減っているわけではないです。それでも牟田さんがお亡くなりになったこととか、さまざまな要因で皆さんとの関係性が徐々に希薄になってしまったので、そもそも新しい団体は、センターを知らないというところもあるかもしれないですね。僕はかつてのセンターは、すごく賑やかで熱い思いの人たちが集まって、頑張っている活動していたのではと思います。そういう居場所として復活する。今の時代はオ

### 紙媒体としてのセボネを考える

**佐藤** セボネのあり方に引きつけて言うと、今SNS全盛の時代に紙媒体を維持する意義は、一つのテーマとしてあるのではないかと思います。個人的にはスマホのようなデバイスに頼らないで、手に取って見ることができるといのは非常に大きいことだと思います。

**近藤** 今はペーパーレスの時代になってきてはいるので、環境保護の観点から言ってもどんどんペーパーレスにしていけばいいのかなと思っています。しかし、今でも多くの方が紙で読んでいらして、その紙媒体のセボネから問い合わせが来るところもあり、まだまだ紙媒体の広報をやめるのは難しいと思っています。しかし、ずっと考えていかなければならない問題ではありますね。

ンラインで繋がることもいいけれど、ちょっとセボネの話からずれるかもしれませんが、改めて、対面で集まれるようなセンターにしていきたいな皆さんの団体を紹介できるセボネを作っていきたい、個人的には思っています。

**市川** おそらく社会的な背景として、昔はボラセンしか集まれる場所がなかったけれど、今はそういう居場所づくりの活動やインターネットを使った活動が増えてきて、かつそれぞれにボランティアが繋がったりしているので、以前のような感じでボラセンが中心となっていて活気を持てるかというと難しい状況はあると思います。ただ、様々な場所ですらボラセンティアーする人が増えているということは決してマイナスではないかなと。だからこそ、今の時代なりの、新しいボラセンの形を考えていかないといけないのではと思います。その中で、セボネはその前身から40年発行が続いていて、世

### 人と人を繋ぐセボネをさらに目指して

**荻野** 今は多くの団体がホームページやSNSでボラセンティアー募集等の情報発信が出来るようになりました。それでもセボネに掲載をする効果を期待して情報を寄せてくれる訳ですから、素早く対応しなくてはなりません。一方で特集記事のように読み物としての重厚感が求められる記事もありますから、そのバランスがセボネの難しいところかもしれません。

今回の座談会で、みなさんとこれからのセボネを語ることができ、これからのセボネのヒントをたくさん頂きました。みなさんもぜひセボネの感想などあれば裏表紙の二次元コードからお願いたします。引き続き、セボネのご愛読をよろしくお願いたします。

(文責／セボネ編集長 近藤 浩紀)

田谷中を見回しても、ボランティアをテーマにした、そこまで長く続いている情報誌は他にはないと思います。そこで、新しいボラセンの形の一つとして、世田谷のボランティアの情報の「ハブ」となるべく、先ほど話題に出たように、様々な方から寄稿をしていただくのはいいアイデアと感じました。



当時の様子をお話しくださった荻野陽一さん



被災家財の運び出しをする様子

**能登半島地震被災地支援ボランティア  
穴水町で活動開始**

せたがや災害ボランティアセンターでは能登半島地震の被災地で1月から2月に4回の実地調査と支援活動を行い、このたび穴水町社会福祉協議会の受入協力が得られ、先遣隊の要素も兼ねた第1便を派遣しました。

横山センター長の陣頭指揮による精鋭編成は3月15日（金）夜にボランティアセンターを出発。ワゴン車を交代で運転、仮眠をとりながら翌16日（土）早朝に穴水町

に到着。現地の災害ボランティアセンターと打合せ後、港に近い在宅避難者宅から被災家財の運び出しと散乱した瓦の撤去、商店のがれき撤去作業を行いました。現地のボランティアベースに宿泊し、ボランティア活動に参加した学生たちと交流する一幕もありました。

17日（日）は山間部の地区で5軒分の被災家財やがれきの積み込みを行い、津波被害を受けた住宅で庭や畑の泥だしに夕刻まで従事しました。復路も終夜走行で18日（月）早朝にボランティアセンターに帰着。3泊4日（うち車中2泊）の日程を無事終えました。

4日後の22日（金）に開催した災害ボランティアコーディネーター専修講座は、実際に現地で活動した参加者による派遣報告会として、今回の経験を共有しました。穴水町や七尾市では水道がほぼ復旧し、駅前から仮設トイレが撤去されてスーパーや商店も少しずつ営業再開、4月にはのと鉄道が穴



津波被害を受けた住宅で庭や畑の泥だしをしました

水駅まで全線再開にこぎつけるなど明るい兆しもみられます。が、一方で、現地でボランティアを見かけることが少なかったという参加者の意見もあり、息長い支援の必要性を痛感しました。

4月以降もボランティアを派遣し、派遣リポートは引き続き本誌や協会ウェブサイトに掲載していきます。また、ボランティアセンターやビュロー、協力店舗での募金箱設置も継続していきます。皆様のご支援に改めて感謝し、引き続きご協力をお願いいたします。

## 「笑恵館」の10年目 ～みんなの家の次なる一歩～



写真左から  
小川さん、田名さん、松村さん

ボランティア協会をなさえる会の「歌う会」を主宰している小川圭一さん、10年ほど前に伴奏者でもあった最愛のお連れ合いを亡くされました。慣れない一人暮らし、小さなアパートへの引っ越しを重ね、「せたがふエ」で紹介された「終活を考える会」に参加するために訪ねたのが祖母谷大蔵にある築60年の「笑恵館」。庭に面した燦爛と陽が注ぐ共有のスペース、別棟は6部屋あるアパート。何と一部屋空いていました！小川さんは「終の棲家」と、さっそく「笑いの絶えない恵に満ちた館」に仲間入りします。家主の田名夢子さんは、「アパートでの一人暮らしだと関係が寂しいで

しょ。何かあった時に二日以内に探してもらうためには、大勢の人が出入りしているところがいい」と老後に備え「にぎやかな家族」を作ろうと考えました。

「孤独死」「独居老人」は他人事ではない私たち世代。北欧などでは高齢者用のシェアハウスがたくさん見られますが、この国には高額な老人ホーム以外の受け入れ先がなかなかありません。「一人暮らしの個室は広くなくていい。みんなで食事が出来る場があれば」。田名さんと運命的に出会い、「日本土地資源協会」を立ち上げ、笑恵館の事務局を一手に担っている松村拓也さんもここに引っ越してきました。画家だったお父様の12畳のアトリエは住民が集まるだけでなく、「何かをしたい」人たちがグループに開放されています。5000円の会費を払うと終身会員。さまざまイベントに企画、参加出来ます。

住民の「規則」は「月一回第四土曜日の住民食卓会」に参加する

こと。田名さんが腕を振るいます。第三土曜日には場を共にする「持ち寄り食卓会」。アルコール持ち込みはもちろんOK。「まあ、民間公民館みたいなものです」

のんびりしたくなる縁側の前の柿の木から「木陰の恵みをいただくのよねえ」と田名さん。木には「お気持ちボックス」が吊るしてあります。家で使わなくなったものが持ち込まれ、「どうぞご自由に」と外のベンチに置いておくと、いつの間にかなくなっていくとか。

オープンから10年。4月11日には誕生パーティが開かれ、特別イベント「コンテストのコンテスト@笑恵館」への応募作品のシール投票による結果が発表されました。「多くの人たちが関わって変化してきた館」の今後の10年、何が起るでしょう。住民8年目の小川さん「他にはないぬくもり。まさに天の恵みです」。



## 協会からのお知らせ

### 個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ご相談ください。電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL：03-5712-5101

メール：v-soudan@otagaisama.or.jp

### 個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦勞をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。現在は、オンラインでの学習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL：03-5712-5101

メール：v-soudan@otagaisama.or.jp

### 市民活動・NPO相談

世田谷区内で活動を始めたい方や、すでに活動している方を対象に団体、個人を問わず、グループ・団体、法人の立ち上げや運営に関する基礎的な相談・情報提供を行っています。相談をご希望の方はお問合せください。また会計、税務、契約、社会保険、雇用、法律の専門相談も行っています。(原則として事前予約制です)

●問合せ／最寄りのセンター、および各ビューローにご連絡ください(電話番号は裏表紙参照、専門相談はセンターにお問い合わせください)

## ボランティア募集

### 幼稚園のお迎えをしてくださる方募集

4月から年中さんになる女の子です。幼稚園から自宅までのお迎えをお手伝いして下さる方を募集しています。週1～2回。特に下のお子さんの体調が悪いときにお手伝いして下さると助かります。

●日時／日にちは要相談。14時～17時の間に幼稚園にお迎え。

●場所／芦花幼稚園(粕谷2丁目20-1)から自宅まで(大人の足で10分位)

●交通／京王線芦花公園駅徒歩15分 ●条件／女性

●問合せ／烏山ボランティアビューロー TEL：03-6909-0333

メール：karasubora@otagaisama.or.jp

### 買い物を手伝ってくださるボランティア募集

京王線芦花公園駅近くにお住まいのご家族が、週1回買い物のお手伝いをしてくださるボランティアを求めています。80代のお母さん(車いす使用)と、障害がある50代の姉弟のご家族です。買い物のために外出するのも困難なため、お手伝いをお願いします。

●日時／毎週水曜日午前中(10時30分～12時の間)

●場所／自宅は南烏山3丁目、スーパーは芦花公園駅近くのサミット

●交通／京王線千歳烏山駅 ●条件／お近くにお住まいの方希望

●問合せ／烏山ボランティアビューロー TEL：03-6909-0333

メール：karasubora@otagaisama.or.jp

### 小5の男の子といっしょにゲームをしてくれるお兄さん募集

小学5年生の男の子が家でいっしょに遊んでくれるお兄さんを探しています。好きなゲームはフォートナイトやスマッシュブラザーズです。YouTubeを見るのも好きです。男の子は集団生活が少し苦手ですが、楽しくおしゃべりしたりゲームをしたり寄り添いながら過ごしてくれる方をお待ちしています。詳細はお問い合わせください。

●日時／平日または土曜日で週1回(平日16時から、1回1～2時間)、月2回でも可

※曜日・時間は応相談

●場所／自宅 ●交通／小田急線成城学園前駅付近

●条件／大学生の男性、交通費支給(上限あり)

●問合せ／玉川ボランティアビューロー 担当 五十嵐 TEL：03-3707-3528

メール：tamabora@otagaisama.or.jp

### 視覚障害のある方の散歩同行ボランティア募集

視覚障害のある70代の女性が健康のために散歩をする時に同行してくれるボランティアを探しています。(途中、喫茶店や、食堂に寄る場合があります)詳細はお問い合わせください。

●日時／月・土・日のいずれか11時～15時頃

●場所／千歳船橋周辺 ●交通／小田急線千歳船橋駅周辺

●条件／休憩でお茶を飲んだり、お昼を食べる時の費用は負担します

●問合せ／砧ボランティアビューロー準備室 TEL：03-6411-4007

メール：kinutabora@otagaisama.or.jp

### 「金メダルの輪」を広げてください！

千歳烏山で35年、トロフィーやメダルを製作するジャパンプライズ株式会社では、寄付していただいた金メダルをリサイクルし、福祉施設等へ通う子どもたちとその家族に希望を届ける「つながるメダルプロジェクト」に取り組んでいます。

※「つながるメダルプロジェクト」や「金メダル寄付活動」とウェブで検索してください。

金メダルは彼らにとって、単なる賞ではなく、日々の生活で新たな挑戦に向かう勇気や楽しみへのきっかけです。子どもたちに金メダルを贈りたいと考えている施設や病院、金メダルの輪を広げる活動に賛同していただけるボランティア団体など、関心のある方からのご連絡をお待ちしています。

●問合せ／烏山ボランティアビューロー TEL：03-6909-0333

メール：karasubora@otagaisama.or.jp

## 有償スタッフ募集

### 視覚に障害がある方の外出時にお手伝いいただける方募集

北沢地域にお住まいの視覚障害がある方が、外出時に付き添っていただける方を求めています。この方は目が見えず、普段はヘルパーさんや同行援護のサービスなどをを受けながら暮らしています。ウォーキングや買い物などの用事で区内各地や周辺へ出かける際の付き添いや、その他自宅にて手紙や印刷物の読み上げ、代筆などをしてくださる方を探しています。経験や資格は問いません。目の見えない方の役に立ちたいと思う方、まずは北沢ボランティアビューローにお問合せください。

●日時／応相談 ●場所／区内、区外、その都度による

●条件／1,000円/時の支給あり(区の緊急介護人に登録)、スマートフォンの操作ができる方(道を調べる程度)

●問合せ／北沢ボランティアビューロー TEL：03-3420-2520

メール：kitabara@otagaisama.or.jp

上記掲載記事は4月12日時点の情報です。  
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

## 有償スタッフ募集

### 中学 1 年生男子と一緒に散歩してくださる方募集

知的障害がある中学 1 年生の男の子が、休日と一緒に散歩や買い物をしてくださる方を探しています。人見知りもなく、明るい男の子です。月に 1 回からでもお手伝いいただくと助かります。詳しくはお問合せください。

- 日時／日曜、祝日の午前中（2 時間程度、応相談）
- 場所／玉堤周辺 ●報酬：1,000 円 / 1 時間（区の緊急介護人に登録）
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー TEL：03-3707-3528  
メール：tamabora@otagaisama.or.jp

### 車いすの女性の通院付き添いや家事ボランティア募集

車いすを使用している 80 代の女性が、通院の付き添いや自宅の掃除や買い物など家事をサポートしてくれる方を探しています。現在一人暮らしのため、生活のサポートをしていただくと助かります。活動日は、通院日により変動しますが平日午前中が多いです。家事サポート日は応相談です。詳しくはお問い合わせください。

- 日時／平日の日中（応相談） ●場所／玉川の自宅、病院（3 か所）
- 交通／田園都市線・大井町線二子玉川駅徒歩 7 分
- 報酬：1,000 円 / 1 時間（区の緊急介護人の登録）
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー TEL：03-3707-3528  
メール：tamabora@otagaisama.or.jp

## 講座・イベント・その他

### 5/19（日）鳥山もったいないバザール開催！

『鳥山もったいないバザール』は、鳥山エリアを中心に活動するボランティア活動団体や NPO、福祉施設など様々な人たちが約 20 団体が集い、「もったいない」をテーマに出店するバザールです。衣類や生活雑貨などのバザール品販売のほか、音楽ライブやボッチャ体験、軽食販売などの模擬店もあります！ぜひお出かけください。

- 日時／5 月 19 日（日）10 時 30 分～14 時
- 場所／鳥山区民センター前広場 ●交通／京王線千歳鳥山駅北口徒歩 1 分
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL：03-5712-5101

### 災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編）@昭和女子大学

2024 年度 1 回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座 基礎編」を昭和女子大学にて開催します！内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等を学びます。

- 日時／6 月 8 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分 ※13 時より受付開始
- 会場／昭和女子大学 1 号館 4 階（世田谷区太子堂 1-7-57）
- 交通／田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅徒歩 7 分 ●参加費／無料
- 申込／5 月 1 日（水）～6 月 6 日（木）までに、せたがや災害ボランティアセンターのホームページ内の専用フォーム、またはメールか電話にてお申し込みください。
- 問合せ／せたがや災害ボランティアセンター TEL：03-5712-5101  
メール：saigai-info@otagaisama.or.jp

### 子どもに寄り添うボランティア講座（学習サポート編 全 3 回）

世田谷ボランティア協会には、日頃より学習支援や遊び相手など、子どものサポートを求める相談が寄せられています。この講座では、子どもの特性や成長に寄り添いながらサポートするボランティアを養成します。基礎からやさしく学べる講座です。子どもと関わるときのポイント、発達障害、知的障害について一から学べる講座です。※事前申込制です。

- 講師／尾崎ミオ氏（NPO 法人東京都自閉症協会副理事長）、森田規子氏（世田谷区教育委員会相談専門指導員）ほか
- 日時／6 月 6 日（木）、20 日（木）、27 日（木）13 時 30 分～16 時 30 分
- 場所／玉川ボランティアビューロー ●交通／田園都市線・大井町線二子玉川駅徒歩 5 分
- 参加費／700 円（資料代）
- 条件／電話・FAX、メールは件名「子どもボラ講座申込」で①氏名、②住所、③連絡先、④年齢（～代）、⑤何を見てを記載
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー TEL：03-3707-3528  
tamabora@otagaisama.or.jp

### 2024 年度「せたがやチャイルドライン 公開講座」参加者募集

チャイルドラインは 1998 年から日本で初めて世田谷で実施され、今では全国約 70 カ所で子どもたちからの電話を受けています。電話を受けているのはすべてボランティアです。開始した頃から時代が変わりましたが、話を聴いて欲しい子どもの気持ちは変わっていません。子どもたちの声を聴くボランティア育成のために研修を企画しました。

子どもと直接かかわってきた講師たちが、子どもの声を聴くために役に立つお話やワークをします。子どもの声をそのまま受けとめるということが、どんなにおもしろく、むずかしく、奥が深いことか、実感していただけたと思います。

そして、チャイルドラインに参加してみたい！と思った方には、子どもの声を聴くために、より具体的なこと学ぶ専修講座もご用意しています。

- 日時／
- ① 5 月 11 日（土）13 時～15 時、② 5 月 11 日（土）15 時 30 分～17 時 30 分
- ③ 6 月 8 日（土）13 時～15 時、④ 6 月 8 日（土）15 時 30 分～17 時 30 分
- ⑤ 6 月 22 日（土）13 時～15 時、⑥ 6 月 22 日（土）15 時 30 分～17 時 30 分
- ⑦ 7 月 6 日（土）13 時～15 時、⑧ 7 月 6 日（土）15 時 30 分～17 時 30 分
- ⑨ 7 月 20 日（土）13 時～15 時、⑩ 7 月 20 日（土）15 時 30 分～17 時 30 分
- 開催方法／会場（世田谷ボランティアセンター（世田谷区下馬 2-20-14））、または WEB 会議ツール「ZOOM」 ※②は ZOOM のみ（会場でも視聴可）、⑨は会場のみ開催
- 参加費／1 講座 2000 円（学生 1000 円）

※初回申込時に全 10 回一括申込は 19,000 円、学生 9,000 円  
※講師や講座内容、申込は当協会のホームページからご確認ください。

「せたがやチャイルドライン公開講座」と検索してください。

- 問合せ／せたがやチャイルドライン事務局 TEL：03-5712-5101

### AI システムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発した AI システムによるマッチングサイト（世田谷版 G B E R 「ジーバー」）で結び付け、ボランティア活動を支援します。

詳細は左記二次元コードからご覧ください。



上記掲載記事は 4 月 12 日時点の情報です。  
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

# 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

〒157-0065 上祖師谷1-11-14(千歳烏山駅 徒歩12分)  
烏山ボランティアビューロー  
TEL 03-6909-0333 FAX 03-6909-0355

千歳烏山駅

〒154-0004 太子堂4-26-9  
(三軒茶屋駅 徒歩5分)  
スペース ココカラ。  
(ぽーとせたがや・パートナーセンター)  
TEL 03-6804-0405

明大前駅

下高井戸

〒154-0022 梅丘1-8-9(梅ヶ丘駅 徒歩5分)  
北沢ボランティアビューロー  
TEL03-3420-2520 FAX03-3706-2854

梅ヶ丘駅

下北沢駅

〒154-0002 下馬2-20-14(三軒茶屋駅 徒歩12分)  
世田谷ボランティアセンター・せたがや災害ボランティアセンター  
せたがやチャイルドライン事務局 TEL 03-5712-5101 FAX 03-3410-3811  
ケアセンターふらっと TEL 03-5712-5105 FAX 03-3410-3813

三軒茶屋駅

〒157-0066 成城6-3-10(成城学園前駅 徒歩3分)  
砧ボランティアビューロー準備室  
TEL 03-6411-4007 FAX 03-6411-5888

成城学園前駅

〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋(三軒茶屋駅 徒歩20分)  
1階 ケアセンターwith TEL 03-6805-4715 FAX 03-6805-4718  
2階 ケア相談センター結(ゆい) TEL 03-5433-2830 FAX 03-6383-2156  
2階 ケアステーション連(れん) TEL 03-6805-4716 FAX 03-6805-4718  
2階 地域障害者相談支援センターぽーとせたがや TEL 03-6804-0405 FAX 03-6383-2156

二子玉川駅

〒158-0094 玉川2-1-15(二子玉川駅 徒歩5分)  
玉川ボランティアビューロー  
TEL03-3707-3528 FAX 03-3708-3058

## 相談・お問い合わせ先

- ボランティアについて ▶ 【世田谷ボランティアセンター、各ボランティアビューロー】  
災害ボランティアについて ▶ 【せたがや災害ボランティアセンター】  
リハビリについて ▶ 【ケアセンターふらっと、ケアセンター with】  
訪問介護について ▶ 【ケアステーション連】  
介護プランについて ▶ 【ケア相談センター結】  
障害について ▶ 【ぽーとせたがやスペース ココカラ。】

## ご意見・ご感想等お寄せください

皆さまのご意見・ご感想などをお待ちしております。「こういったボランティア情報が読みたい！」などもございましたら、お気軽にお寄せください。今後の参考にさせていただきます。



協会ホームページ、  
Facebook、Instagram は  
こちらの二次元コードから



ホームページ



Facebook



Instagram

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。